

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団災害対応能力向上事業

自治体名

広島県江田島市

消防団名

江田島市消防団

1 事業の目的・必要性

江田島市では、全国各地で発生する震災対応において、常備消防のみの救助範囲に限界を感じ、消防団救助班を6分団配備していますが、大規模災害発生時には各地区が孤立する危険性が高く、市全体の消防力を充実させる必要があります。

そのため、各分団に救助用資機材を整備し、分団単位で救助活動ができるよう計画しています。

2 事業内容

救助活動資機材（充電式油圧救助器具：オグラR P-V250コンピツール）4台及び訓練用人形（ホースマン2体）を整備し、救助資機材配備分団を6分団から10分団に増強し、大規模災害への備えを充実させるとともに、年間を通じ資機材の取扱、災害活動の知識習得及び常備消防からの技術的指導を受けた質の高い訓練を実施することにより、消防団の力を向上させ、消防団と常備消防の協力的体制を強化し、江田島市全体の災害対応能力の向上を図ります。

訓練の様子



3 事業成果

資機材配備された分団は、常備消防による取扱説明と救助方法の指導を受けるとともに、約3ヶ月間個別に取扱習熟訓練を行い、2月に合同で総合訓練を実施しました。

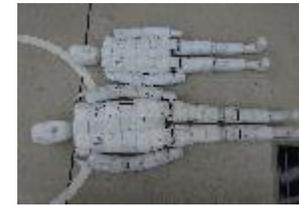
今後起こりうる大規模災害への備えとして、救助資機材の充実と消防団での救出訓練を実施したことにより、各分団の災害対応能力の向上と、大規模災害に対する意識の向上を図ることができました。

今後の課題としては、定期的に常備消防と様々な現場を想定した訓練を重ね、状況に応じた救助活動ができるようスキルアップに努めます。

オグラR P-V250コンピツール



訓練用人形ホースマン



4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
人材育成	回数	1	1	
取扱習熟	回数	3	3	
総合訓練	回数	1	1	

5 その他参考情報

単市での救助資機材等の複数整備は財政上厳しい中、本事業を活用することができ、整備計画が一気に加速し消防力の大幅な向上につながりました。